

ダリア「NAMAHAJEラブ」および「NAMAHAJEピース」の品種適応性

ダリア「NAMAHAJEラブ」および「NAMAHAJEピース」は本県の冬春開花作型の切り花栽培に適する

背景・目的

- 宮崎県では、秋田県と連携し、秋田県育成のダリアNAMAHAJEシリーズ（以下、「N. シリーズ」）のリレー出荷に取り組んでいます。秋田県で新たに育成されたシリーズ新品种については、本県での適性は不明です。
- 本試験では、リレー出荷体制の安定に繋がる NAMAHAJEシリーズの栽培品種拡大のため、本県での栽培に適する品種選定を行いました。

成果の内容

- 2021年度に検定した「NAMAHAJEラブ」「NAMAHAJEピース」は本県の冬春開花作型にします（表1、2、写真1、写真2）。
- 「NAMAHAJEラブ」および「NAMAHAJEピース」は、発根性も良く、露心花の発生も少なく、1番花から3番花の切り花長の全てで80cm以上の切り花長が得られ、切り花形質も優れます（表1、表2）。

表1 各品種の平均開花日および切り花形質

品種名	採花	平均開花日 ² (月/日)	到花日数 ³ (日)	切花長 (cm)	切花重 ⁴ (g)	節数 (節)	基部径 ⁵ (mm)	露心花率 (%)
かまくら	1番花	10/17	66	73.9 ± 6.9 [*]	42.9 ± 11.5	6.5 ± 0.6	7.9 ± 1.0	46.0
	2番花	12/30	74	65.2 ± 9.7	30.2 ± 7.8	5.0 ± 1.1	6.1 ± 1.4	70.8
	3番花	3/15	75	51.5 ± 8.2	23.3 ± 6.9	3.7 ± 0.7	5.1 ± 1.0	69.1
NAMAHAJEラブ	1番花	10/26	76	124.2 ± 14.4	134.8 ± 29.5	9.0 ± 1.0	10.3 ± 1.0	0.0
	2番花	1/19	85	107.0 ± 22.7	81.2 ± 30.7	7.0 ± 1.9	8.5 ± 1.6	0.0
	3番花	3/26	66	99.4 ± 16.2	66.3 ± 22.2	5.4 ± 1.0	7.6 ± 1.6	0.0
NAMAHAJEピース	1番花	11/1	82	107.7 ± 11.7	124.2 ± 24.6	10.3 ± 0.8	10.6 ± 0.7	6.3
	2番花	2/13	104	98.7 ± 19.1	89.6 ± 35.2	7.7 ± 1.7	8.5 ± 1.7	0.0
	3番花	4/24	70	83.0 ± 16.2	75.8 ± 37.3	5.4 ± 1.2	8.9 ± 2.2	2.2

¹ 最外層の舌状花が花盤に対して水平に開いた日

² 摘心および収穫後から開花までに要した日数

³ 1節咲いて収穫した後、上位1対葉のみ残した切り花の重量

⁴ 収穫した切り花部分の重量

⁵ 平均±標準偏差

表2 「NAMAHAJEラブ」および「NAMAHAJEピース」の特性

品種名	花色	その他特性
NAMAHAJEラブ	サーモン ピンク	発根性は良い。1番花の開花が早く、2番花以降の回転も良い。露心花の発生はない。茎が少し柔い。花色にぼらつきはない。
NAMAHAJEピース	ピーチ	発根性は良い。1番花の開花はNAMAHAJEラブより遅く、2番花以降の回転も遅い。露心花の発生は少ない。花が上向きに開花する。低温期に花の中心の花色が薄くなる。



写真1「NAMAHAJEラブ」



写真2「NAMAHAJEピース」

成果の活用方法(又は期待される効果)

- ダリアNAMAHAJEシリーズの「NAMAHAJEラブ」、「NAMAHAJEピース」は、本県における冬春作型において、切り花の規格や形質の点で十分な適応性を示し、リレー出荷を前提とした品種導入に適します。
- 年間を通して市場の需要に応えることができるリレー出荷品種が拡充されることにより、取組の更なる安定強化に繋がるとともに、本県ダリア産地のブランド力向上が期待されます。
- 普及対象地域・戸数 中部地域 4戸

留意点

- ダリアは市場ニーズの変化が大きいので、導入に際して事前取引先や実需者等と協議を行うのが望ましいです。

関連研究成果カード：2022年度 前期 番号 10

関連事業名：花きの産地革新のための効率的・革新的技術開発事業(県単)

研究期間：2021年度